

Kamvas Pro 27



目次

1. 前書き	3
2. 製品について	3
2.1. 製品について	3
2.2. 付属品	5
2.3. スタンドの設置と使用方法	7
3. 接続する	8
3.1. HDMI ケーブルによる接続	8
3.2. フル機能 USB-C ケーブルによる接続	8
4. ドライバをインストールする	9
4.1. Windows	9
4.2. mac	12
4.3. Linux (Ubuntu)	14
5. デジタルペンの使用方法	21
6. 静電容量方式タッチの使用方法	22
7. ドライバの設定と機能	23
7.1. 界ドライバの見方	23
7.2. ペンディスプレイの設定	25
7.3. デジタルペンの設定	29
7.4. ドライバの設定	34
8. ペンを使った OSD 設定	38
8.1. シーンモード	38
8.2. 色温度の設定	38
8.3. 色域の設定	40
8.4. 一般設定	41
9. トラブルシューティング	42

1. 前書き

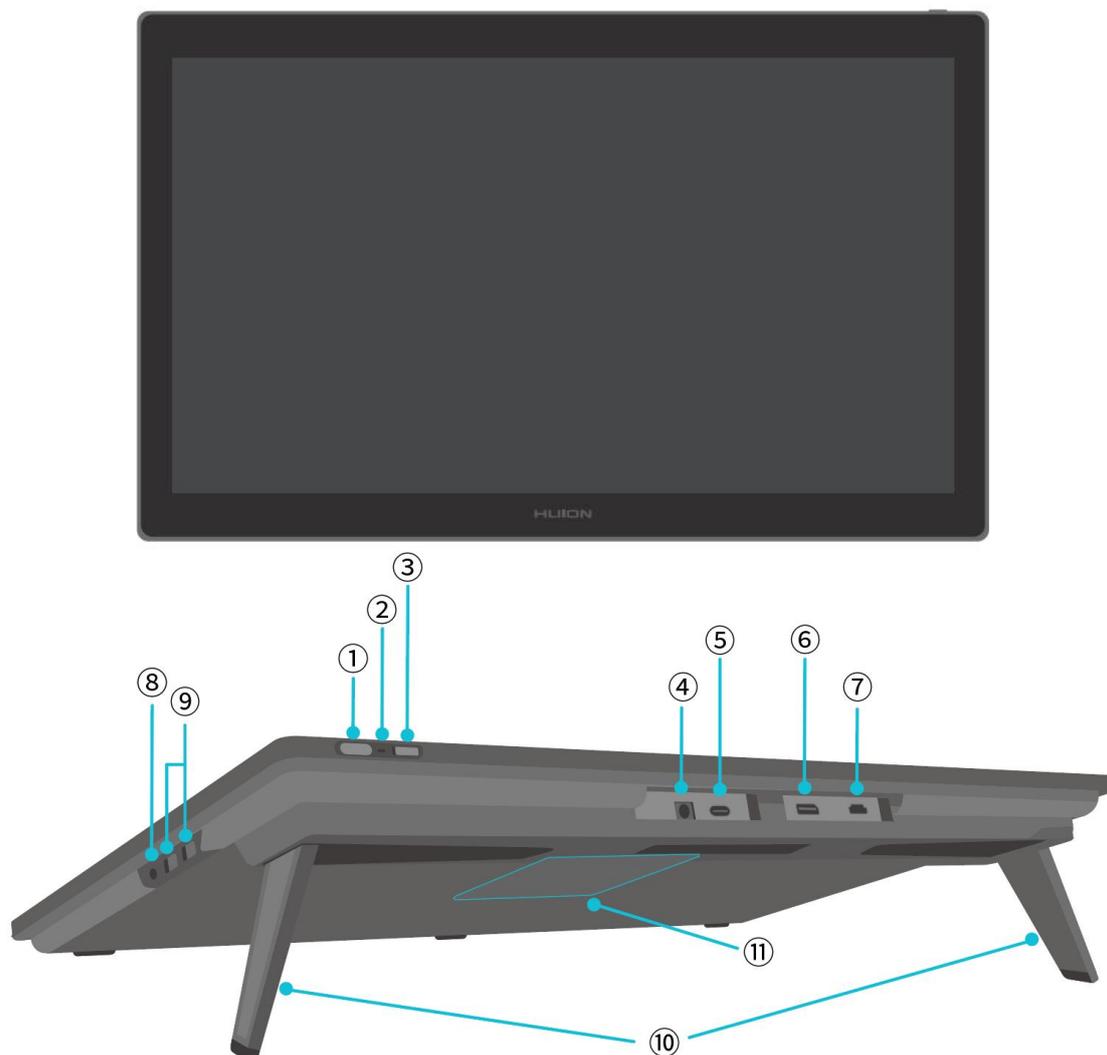
HUION Kamvas Pro 27 ペンディスプレイをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

Kamvas Pro 27 は、3D デザイン、描画、アニメーション分野のクリエイター向けに特別に設計された高性能な大型ペンディスプレイです。これにより、創作効率が大幅に向上します。さらに、同梱の **K20 Bluetooth キーボード** には、ダイヤルコントローラーとプログラマブルキーが 18 キー付属しており、お客様のご利用環境に合わせてショートカットキーを設定し、よく使う機能に簡単にアクセスできます。Kamvas Pro 27 ペンディスプレイと K20 Bluetooth キーボードを組み合わせることで、よりプロフェッショナルで効率的かつ便利な描画が可能になります。

この使用説明書をよく読み、本製品をよりよく理解した上でご使用ください。本書内の写真は一例です。あらかじめご了承ください。

2. 製品について

2.1. 製品について



① 電源ボタン/ディスプレイ設定ボタン

短く押す： ペンディスプレイのオン/オフ。

ペンディスプレイがオンになっているときに 3 秒間の長押し： オンスクリーンの調整メニュー（[ペン対応の OSD メニュー](#)）を呼び出します。

② インジケータランプ

白色の光： 動作状態

赤色の光： スリープ状態

消灯： 電源に接続されていない/ペンディスプレイがオンになっていない

③ スライドスイッチ

スイッチを左右にスライドすると、フィンガータッチ機能を無効または有効にすることができます。

④ 電源入力

電源供給のために 19V 3A の電源アダプターを接続します。

⑤ フル機能 Type-C ポート

フル機能 USB-C ケーブルに対応したコンピュータに接続し、手書きデータを転送します。

⑥ ディスプレイポート

ディスプレイポート信号を伝送します。

⑦ HDMI ポート

HDMI 信号を伝送します。

⑧ 3.5mm ヘッドフォンジャック

3.5mm コネクタを接続します。

⑨ USB-A ポート × 2

USB フラッシュドライブ、キーボード、マウスなどを接続します。

⑩ 内蔵スタンド

0°から 20°まで調整可能な 2 つの内蔵スタンドが、正しい視野の高さと安定した支えを可能にします。

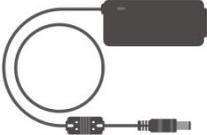
⑪ VESA 規格

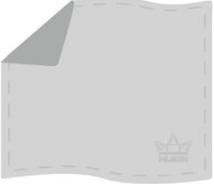
100mm×100mm の VESA 規格を備える Kamvas Pro 27 ペンディスプレイには、規格に準拠した様々な VESA ブラケット([HUION Store](#) で購入可能)、または他のブラケットやアームに取り付けることができ、ペンディスプレイの角度や位置を幅広く調整することができます。

注意： Kamvas Pro 27 ペンディスプレイの重量は約 8kg です。別途購入するブラケットまたはアームがその重量を支えることができるか確認してください。支えることができない場合、設置時に安全上の問題が発生する可能性があります。

2.2. 付属品

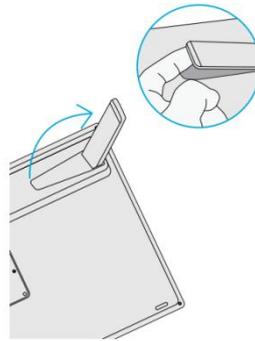
開梱後、以下の部品が届いていることを確認してください：

Kamvas Pro 27 ペンディスプレイ	
AC 電源アダプター	
AC 電源コード(1.8m)	
HDMI ケーブル(1.8m)	
フル機能 USB-C ケーブル(1.8m)	
USB-A&USB-B ケーブル(1.8m)	
PW600 デジタルペン	
PW600S デジタルペン	
PN06 スタンダードペン先×5 (ペンケース内部)	
PN06F フェルトペン先×5 (ペンケース内部)	

<p>ペンケース (ペン先クリップ、ペン先内蔵)</p>	
<p>K20 片手用キーボード</p>	
<p>クリーニングクロス</p>	
<p>アンチタッチグローブ</p>	
<p>クイックスタートガイド</p>	

2.3. スタンドの設置と使用方法

ペンディスプレイ Kamvas Pro 27 には、背面に 2 つのスタンドが内蔵されており、広げて使用することができます。

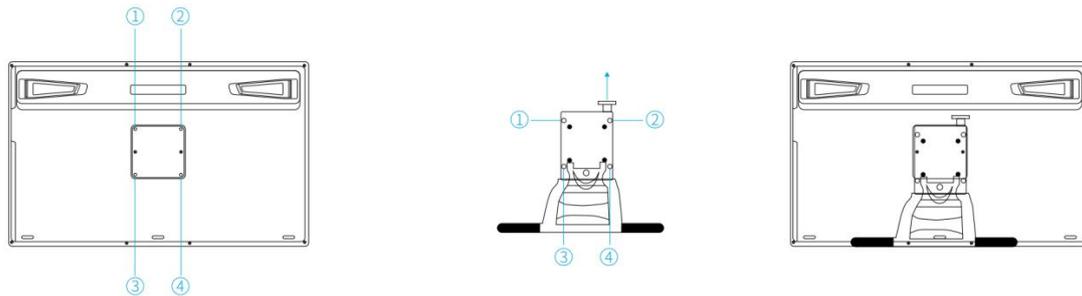


注意:

1. 内蔵スタンドに加え、ペンディスプレイの背面にある VESA 規格を利用すれば、規格に準拠した様々な VESA ブラケット([HUION Store](#) で購入可能)、または他のブラケットやアームに取り付けることができ、ペンディスプレイの角度や位置を幅広く調整することができます。

以下に、Huion ST100 アジャスタブルスタンドの取付例を説明します。ただし、スタンドは付属していないので、別途購入する必要があります:

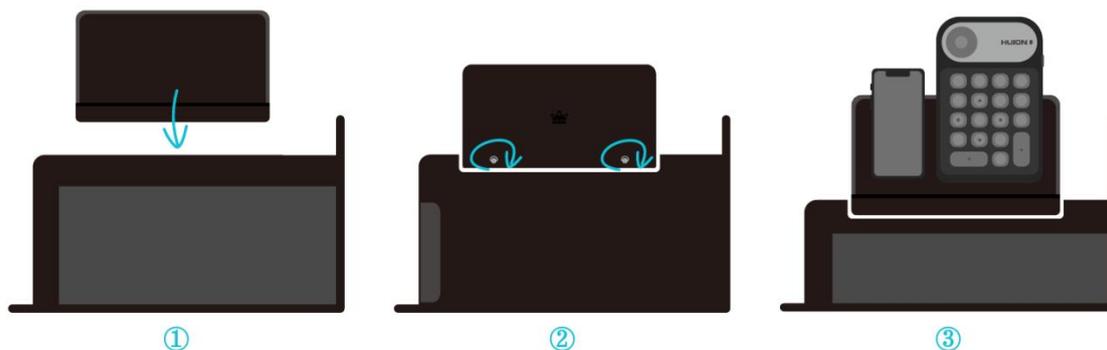
- ① スタンドの 4 つの取り付け穴とペンディスプレイ背面の 4 つの VESA 規格の位置を合わせ、ネジを締めます。
- ② 設置後、スライダバーを引いてスタンドの角度(30°~85°)を調整してください。
- ③ 適切な角度に調整すると、ペンディスプレイを使い始めることができます。



2. ペンディスプレイはキーボードトレイ([HUION Store](#) で購入可能)やその他のブラケットと組み合わせて使用することで、キーボードや携帯電話などが置きやすくなります。

以下に、Huion KH01 キーボードトレイの取付例を説明します。ただし、キーボードトレイは付属していないので、別途購入する必要があります:

- ① キーボードトレイをペンディスプレイの適切な位置に固定します。
- ② キーボードトレイの背面のネジを締めます。
- ③ 設置後、キーボードや携帯電話などと一緒に使用することができます。

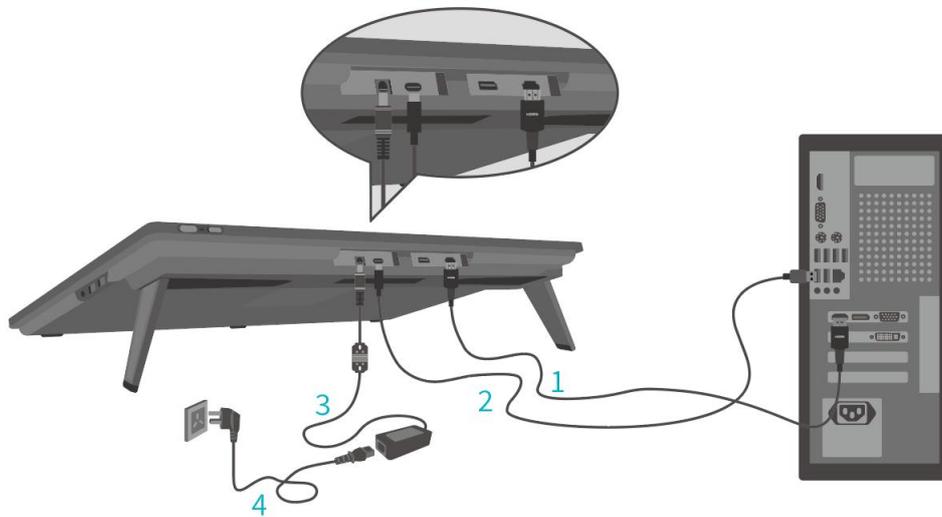


3. 接続する

ペンディスプレイは、パソコンや Android 端末に接続することができます。以下の接続方法をご参照ください。

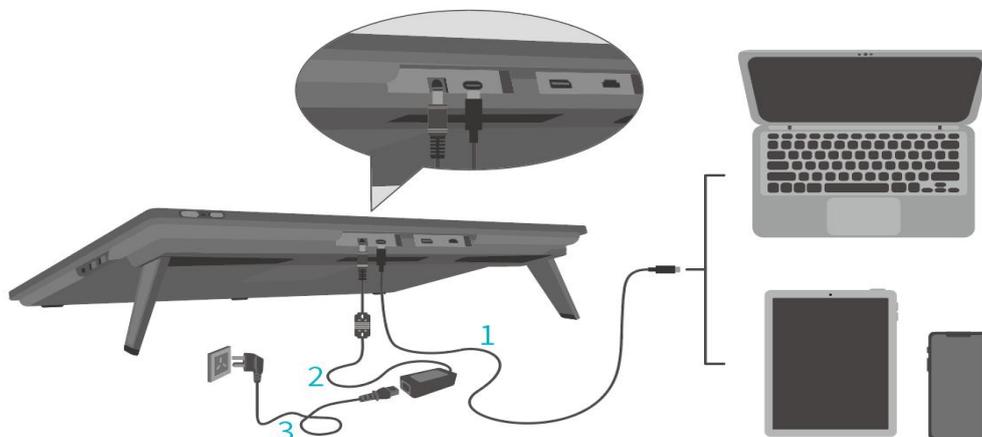
3.1. HDMI ケーブルによる接続

- 1.HDMI ケーブルの一方の端をコンピュータの HDMI ポートに差し込み、もう一方の端をペンディスプレイの HDMI ポートに差し込みます。
- 2.USB-A&USB-C ケーブルの USB-C コネクタをペンディスプレイの USB-C ポートに差し込み、USB-A コネクタをコンピュータの USB-A ポートに差し込みます。
- 3.電源アダプターのコネクタをペンディスプレイの電源ポートに差し込みます。
- 4.電源アダプターを電源コードに接続し、電源コードをコンセントに差し込みます。



3.2. フル機能 USB-C ケーブルによる接続

- 1.フル機能 USB-C ケーブルの一方の端をペンディスプレイの USB-C ポートに差し込み、もう一方の端をコンピュータ/タブレット/Android デバイスまたはドッキングステーションの USB-C ポートに差し込み、信号とデータを転送します。
- 2.電源アダプターのコネクタをペンディスプレイの電源ポートに差し込みます。
- 3.電源アダプターを電源コードに接続し、電源コードをコンセントに差し込みます。

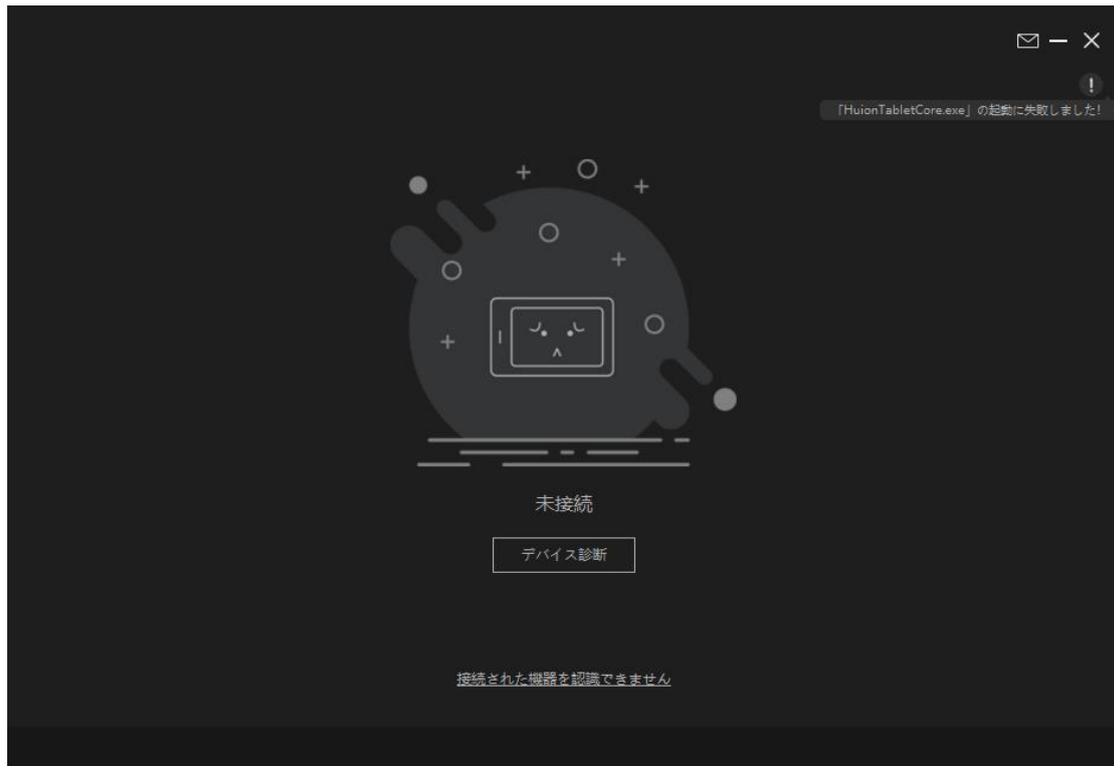


4. ドライバをインストールする

4.1. Windows

ご注意:

① ドライバをインストールする前に、すべてのグラフィックソフトウェアとアンチウイルスソフトウェアを終了してください。[「HuionTabletCore.exe」の起動に失敗しました!] は Windows でのみ表示されます。

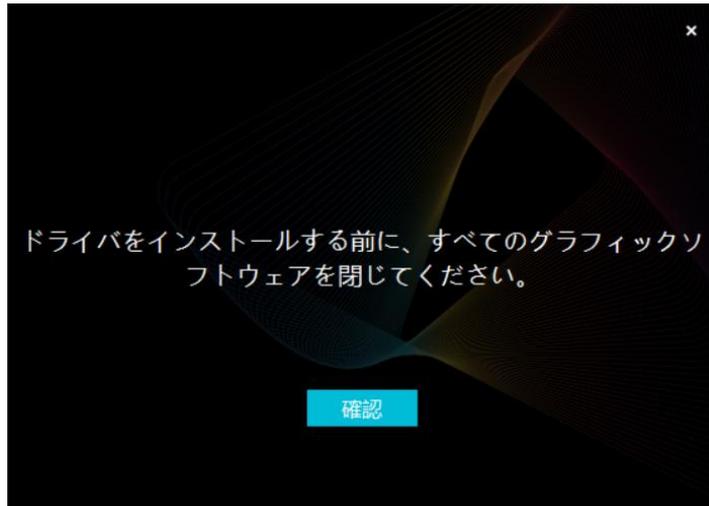


- ② お使いのデバイスの OS が Windows 10 以降であることを確認してください。
- ③ 接続に失敗する場合は、ドライバまたはパソコンを再起動してください。
- ④ ドライバーをアンインストールすると、特定のアプリケーションでペンディスプレイの筆圧感知が効かないなどの問題が発生することがあります。この場合、ドライバーを再インストールすれば、ペンディスプレイはデフォルト設定に戻ります。

ドライバーのインストール方法:

1. コンピューターにペンディスプレイを接続します。
2. デバイス用の最新ドライバーを入手するには、[Driver-Kamvas Pro 27](#) をクリックしてください。

3. ドライバをダブルクリックし、「OK」をクリックして次に進みます。



4. 利用規約に同意して、「今すぐインストール」をクリックします。



5. インストールが完了したら、「今すぐ試す」をクリックします。



6. ドライバを起動し、KAMVAS Pro 27 の画像が表示されたら接続完了です。



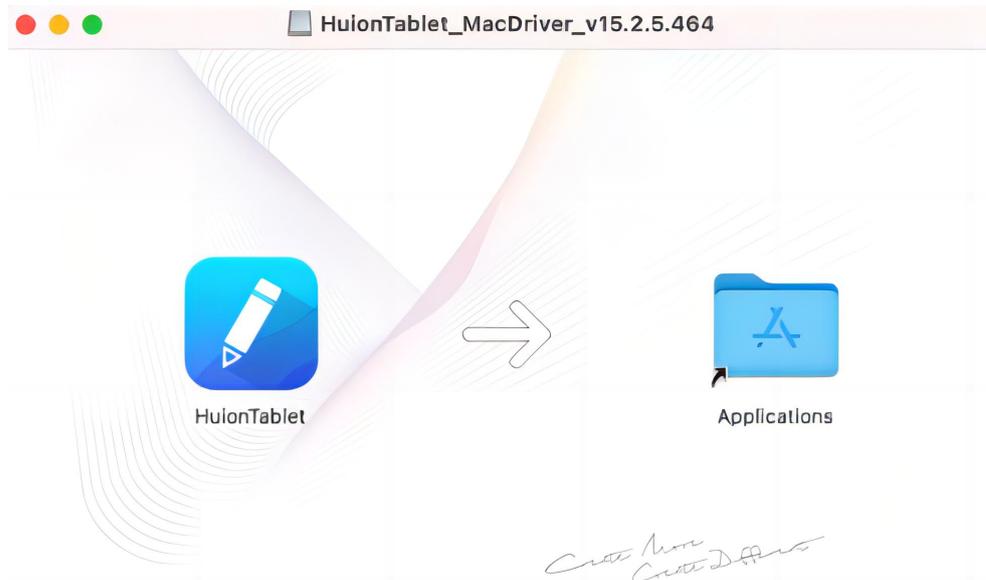
4.2. mac

ご注意:

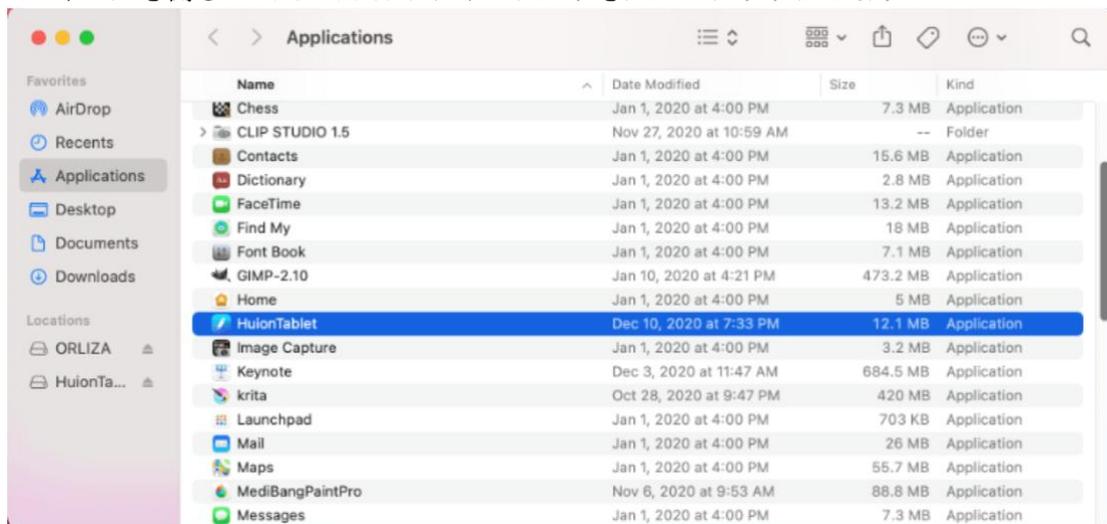
- ①お使いのデバイスの OS が macOS10.12 以降であることを確認してください。
- ②接続に失敗した場合は、ドライバまたはコンピュータを再起動してください。
- ③ドライバーをアンインストールすると、特定のアプリケーションでペンディスプレイの筆圧感知が効かないなどの問題が発生することがあります。この場合、ドライバーを再インストールすれば、ペンディスプレイはデフォルト設定に戻ります。

ドライバーのインストール方法:

- 1.コンピュータにペンディスプレイを接続します。
- 2.デバイス用の最新ドライバーを入手するには、[Driver-Kamvas Pro 27](#) をクリックしてください。
- 3.ドライバーファイルを解凍し、"HuionTablet"アイコンを"Applications"フォルダにドラッグしてください。



- 4.フォルダを開き、HuionTablet ドライバアプリをダブルクリックします。



- 5.ペンタブレットを Mac に接続し、「システム環境設定を開く」をクリックします。「セキュリティとプライバシー」→「プライバシー」→「アクセシビリティ」と進み、

鍵のアイコンをクリックして設定を解除します。HuionTablet ドライバアプリ左側のチェックボックスにチェックを入れ、アクセシビリティを有効にします。次に、鍵アイコンをクリックして、設定をロックします。



6. ドライバを起動し、KAMVAS Pro 27 の画像が表示されたら接続完了です。



4.3. Linux (Ubuntu)

注:

1. ドライバーをインストールした後、コマンドウィンドウを必ず閉じ、Linux デバイスを再起動するようにしてください。デバイスの再起動後、システムメインメニューから Huion タブレットドライバーを開き、そこでいくつかの設定を完了させることができます。
2. VMware 上で Linux OS を動作させる場合、VMware Workstation の Pro 版を使用する必要があります。また、VMware Workstation の Play 版は、Huion タブレットドライバーに対応していません。
3. Ubuntu OS の一部のバージョンは、複数モニターの同時使用に対応していません。また、複数のディスプレイで同時に Huion ペイントデバイスをスムーズに使用したい場合は、システムを 20.04 LTS 以降にアップグレードすることをお勧めします。

Huion タブレットドライバーのインストールパッケージでは、Linux デバイス用に 2 種類のファイル形式が用意されています:

[tar.xz \(ファイル形式\)](#)

[deb \(ファイル形式\)](#)

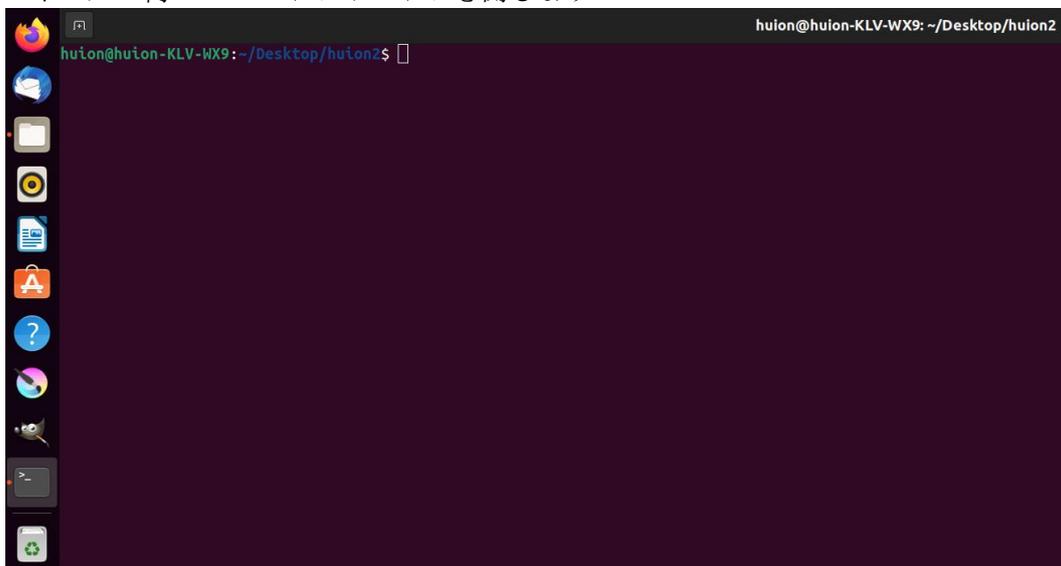
ここでは、異なるファイル形式のドライバーパッケージをインストールする手順をそれぞれ解説します:

4.3.1. tar.xz 形式ドライバーパッケージファイルのインストール方法。

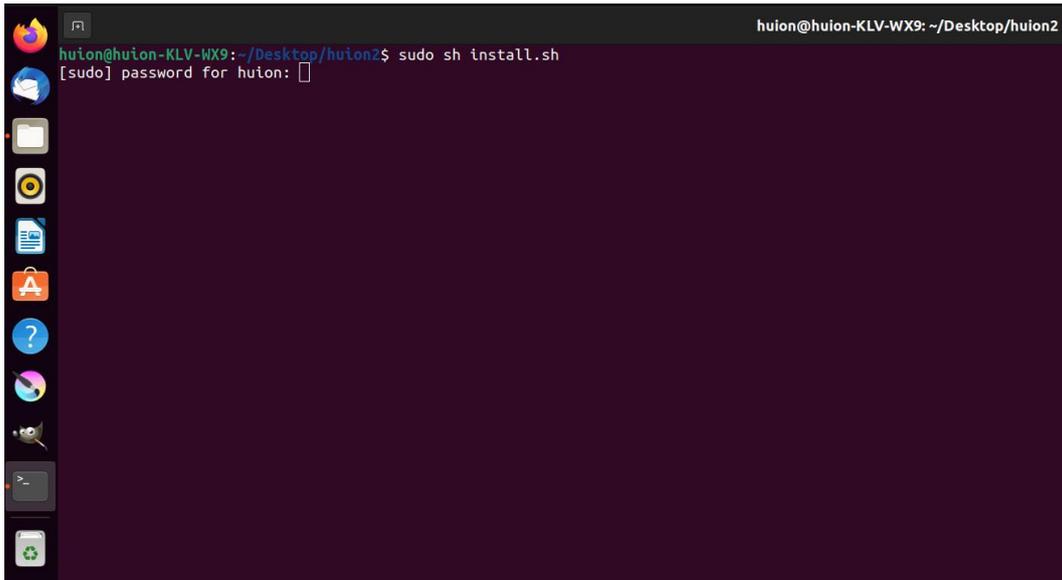
Linux OS 対応: Ubuntu

4.3.1.1. インストール手順:

1. ドライバーファイル `huiontablet_XXXX.tar.xz` をフォルダに解凍します。
2. フォルダー内のコマンドウィンドウを開きます。



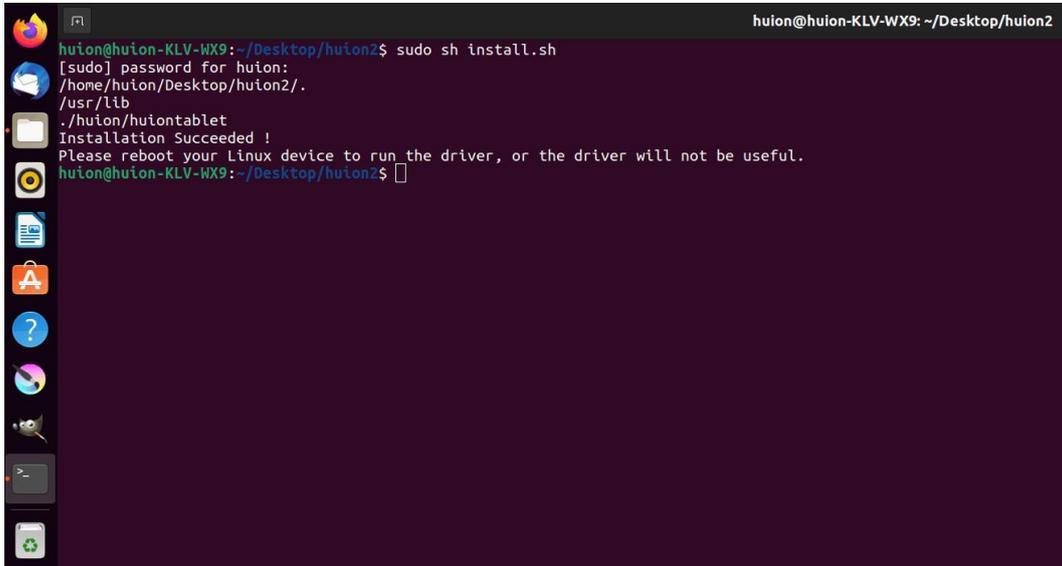
3. 「`sudo sh install.sh`」というコマンドを入力し、キーボードのエンターキーを押すと、Linux デバイスが実行します。



```

huion@huion-KLV-WX9: ~/Desktop/huion2
huion@huion-KLV-WX9:~/Desktop/huion2$ sudo sh install.sh
[sudo] password for huion:
    
```

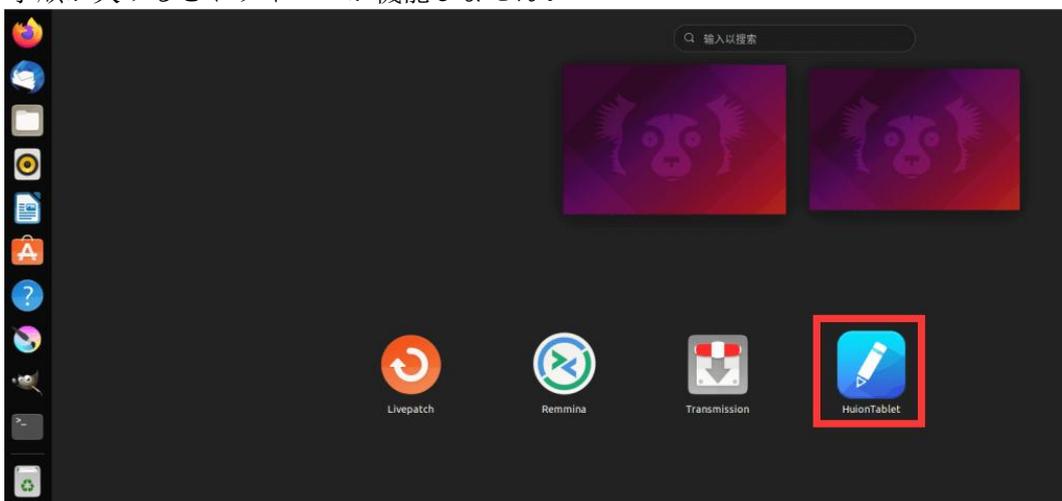
4. ユーザーパスワードを入力し、インストールを完了します。



```

huion@huion-KLV-WX9:~/Desktop/huion2$ sudo sh install.sh
[sudo] password for huion:
/home/huion/Desktop/huion2/.
/usr/lib
./huion/huiontablet
Installation Succeeded !
Please reboot your Linux device to run the driver, or the driver will not be useful.
huion@huion-KLV-WX9:~/Desktop/huion2$
    
```

5. ドライバーが機能するためには、Linux デバイスを一度再起動する必要があります。この手順が欠けるとドライバーが機能しません。

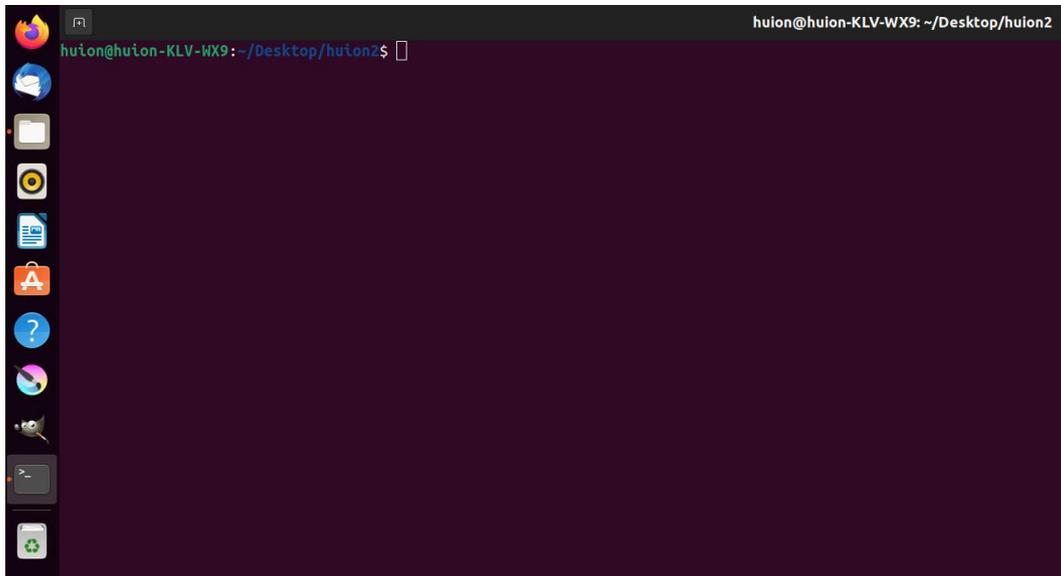


6. ドライバを起動し、KAMVAS Pro 27 の画像が表示されたら接続完了です。

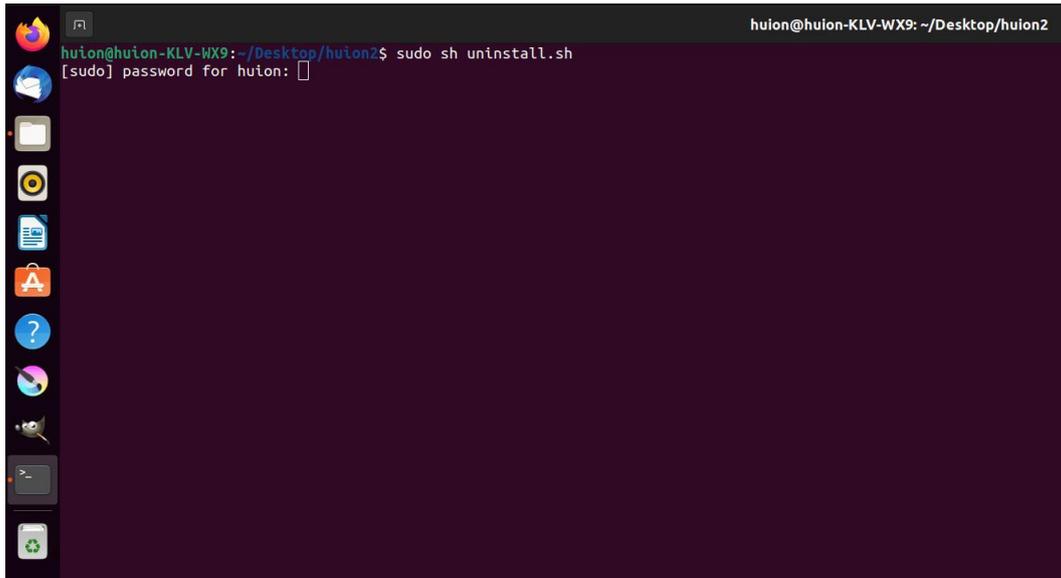


4.3.1.2. アンインストール手順：

1. ドライバのフォルダでコマンドウィンドウを開きます。



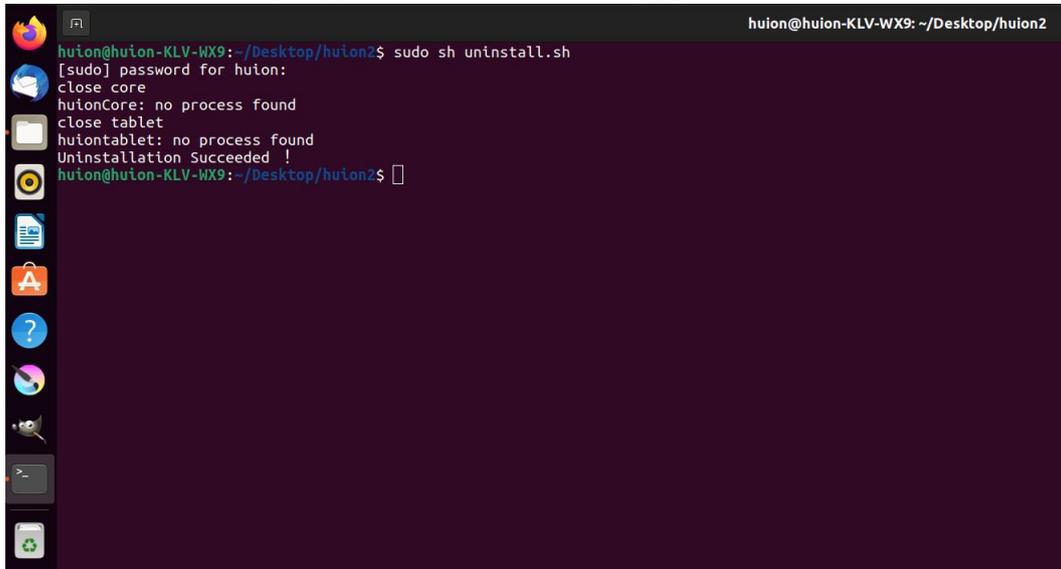
2. コマンドウィンドウに「`sudo sh uninstall.sh`」というコマンドを入力し、キーボードのエンターキーを押すと、Linux デバイスが実行します。



```

huion@huion-KLV-WX9: ~/Desktop/huion2
huion@huion-KLV-WX9:~/Desktop/huion2$ sudo sh uninstall.sh
[sudo] password for huion: 
    
```

3. ユーザーパスワードを入力し、アンインストールを完了します。



```

huion@huion-KLV-WX9:~/Desktop/huion2
huion@huion-KLV-WX9:~/Desktop/huion2$ sudo sh uninstall.sh
[sudo] password for huion: 
close core
huionCore: no process found
close tablet
huiontablet: no process found
Uninstallation Succeeded !
huion@huion-KLV-WX9:~/Desktop/huion2$ 
    
```

4.3.2. deb 形式ドライバーパッケージファイルのインストール方法。

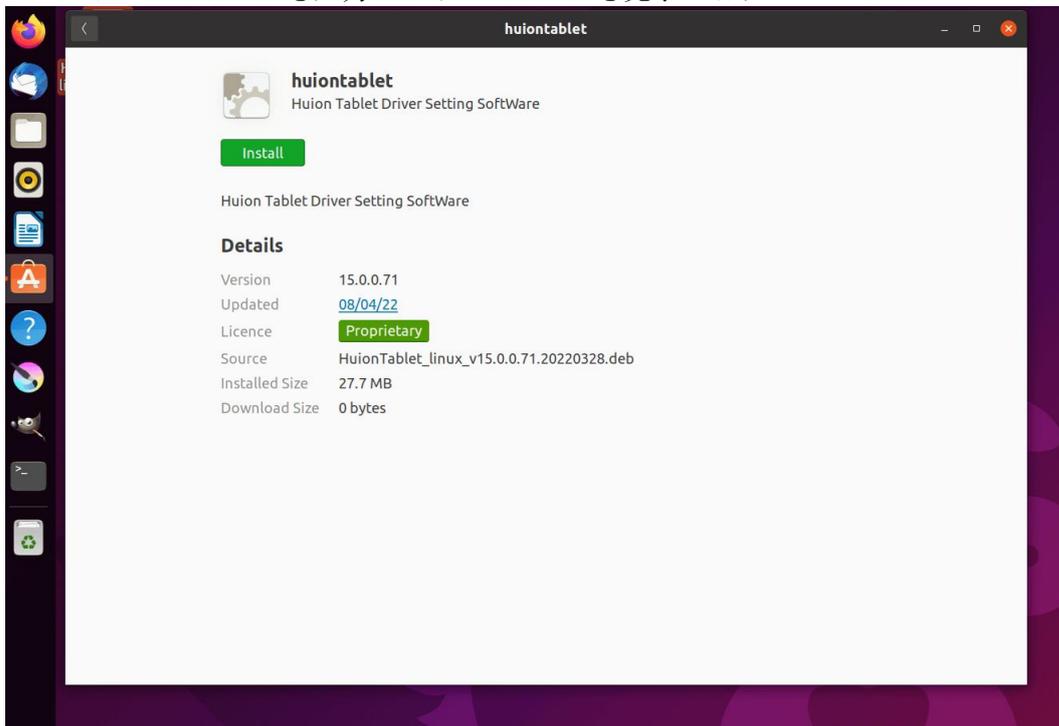
Linux OS 対応:Ubuntu

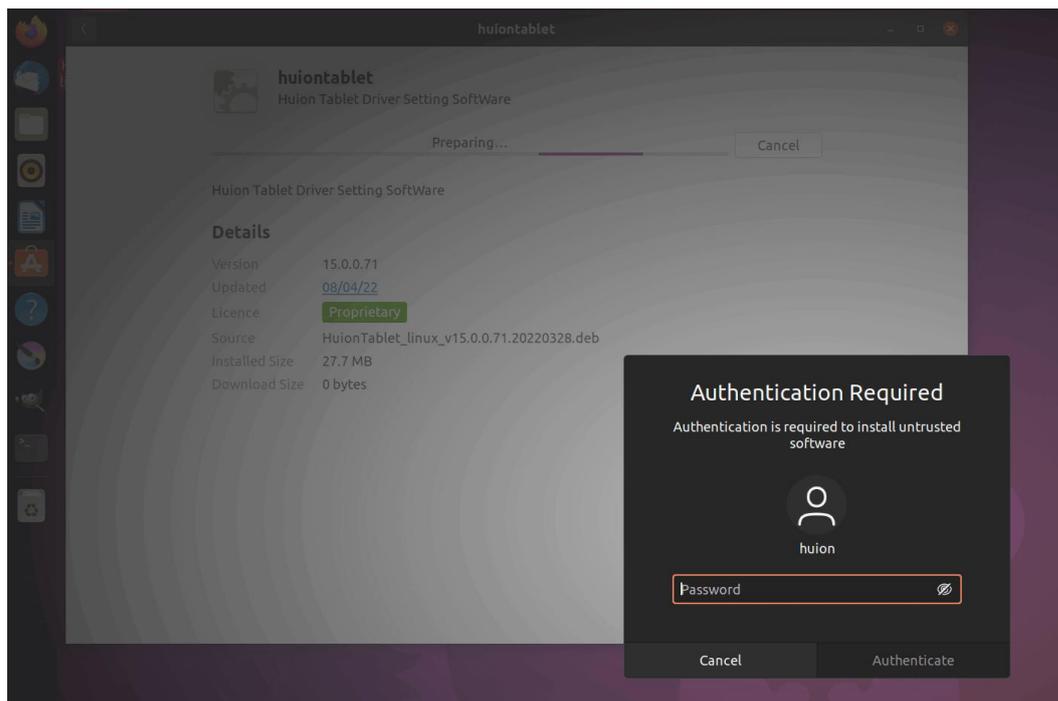
4.3.2.1. インストール手順：

1. フォルダを開き、deb 形式のドライバーファイルをダブルクリックします。アプリケーションストア内の、ドライバーインストール用システムのデフォルトインターフェイスに飛ぶので、「Install」をクリックします。

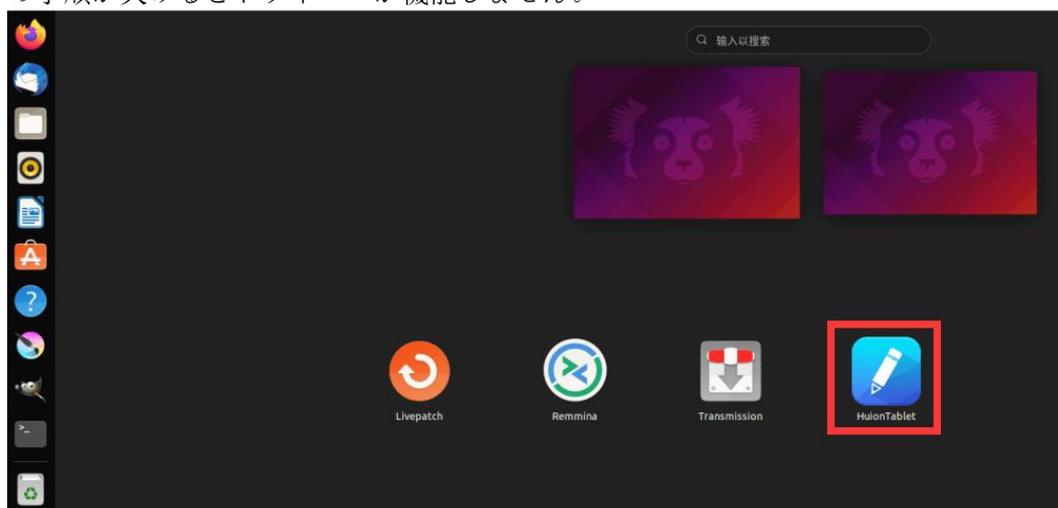


2. ユーザーパスワードを入力し、インストールを完了します。





3. ドライバーが機能するためには、Linux デバイスを一度再起動する必要があります。この手順が欠けるとドライバーが機能しません。



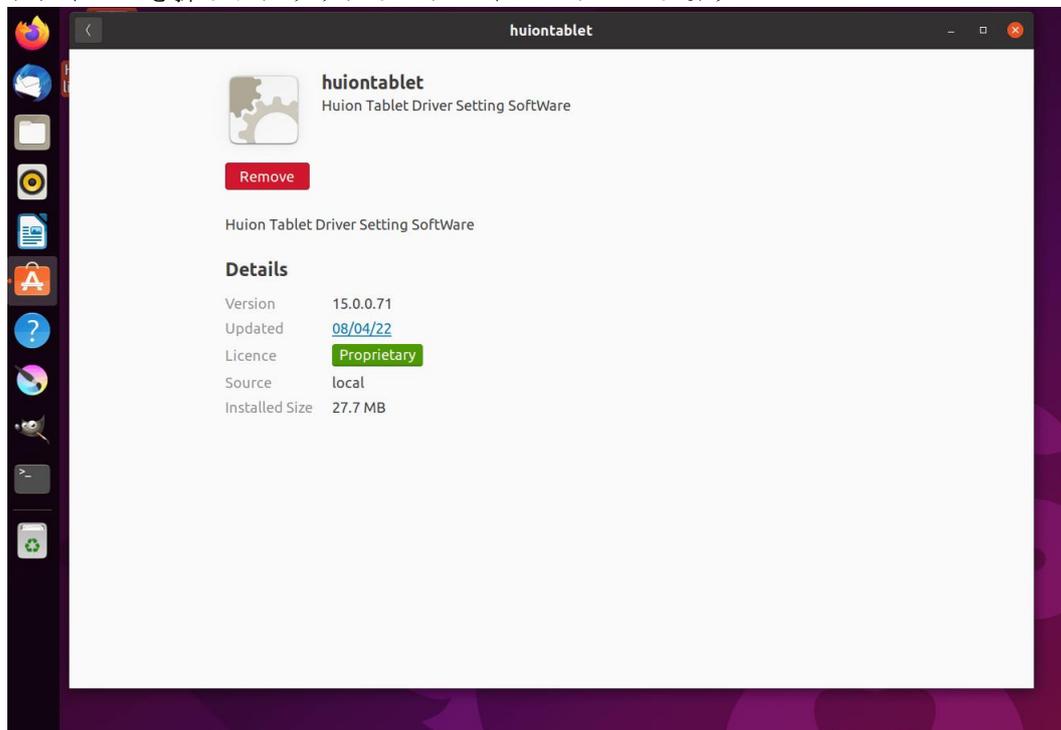
ヒント: ドライバーをインストールする際、Linux デバイスがインターネットに接続されていることを確認してください。接続されていない場合、アプリケーションストア内のインターフェースに入らず、インストールに失敗します。

4. ドライバを起動し、KAMVAS Pro 27 の画像が表示されたら接続完了です。



4.3.2.2. アンインストール手順：

1. システム内アプリケーションストアにインストールされているアプリケーションのインターフェイスに入ります。
2. ドライバーを探し、クリックしてアンインストールします。



ヒント：システム内アプリケーションストアにアクセスできない場合、huiontablet_xxx.deb というドライバファイルを検索し、ダブルクリックしてインストール用インターフェイスに入り、削除ボタンをクリックしてアンインストールすることも可能です。

5. デジタルペンの使用方法

Kamvas Pro 27 ペンディスプレイには新世代のデジタルペン「PW600」と「PW600S」が搭載されており、ペンの先端には消しゴムボタンがついています。この消しゴムボタンは、鉛筆の消しゴムのように使うことができ、ペンの消しゴムを使用するグラフィックアプリケーションでは自然な感覚で消すことができます。

滑り止めのシリコングリップは、ユーザーの皆様が長時間ペンを持っていても疲れを感じずに使えるようになっています。PW600にはプログラム可能なペンボタンが3つ搭載されており、PW600Sにはプログラム可能なペンボタンが2つ搭載されており、デジタルペンの操作がより効率的で便利になります。

ペンの持ち方:

ペンを持つときと同じようにデジタルペンを持ちます。親指や人差し指でペンのキーを押せるように向きを調整してください。使用時に誤って触れないようご注意ください。注意: ペンディスプレイを使用しないときは、ペンをペンディスプレイに置かないでください。マウスや他のデバイスの機能を妨げる可能性があり、またコンピュータがスリープモードに入るのを妨げるおそれがあります。

カーソルの移動:

ペンディスプレイの作業範囲の少し上にペンを画面に触れることなく移動させると、画面上のカーソルがそれに応じて新しい位置に移動します。

クリック:

ペンでペンディスプレイの作業範囲をタップして、クリックを設定します。軽く押すと画面上のアイテムをハイライト表示や選択することができ、長押しでアイテムをドラッグし、ダブルクリックでアイテムを開くことができます。

移動:

ファイルやアイコンを選び、その後ペンの先端を画面上でスライドさせて移動させます。

消去:

消しゴムボタンを消去したい範囲の上に動かし、鉛筆の消しゴムのように使用します。

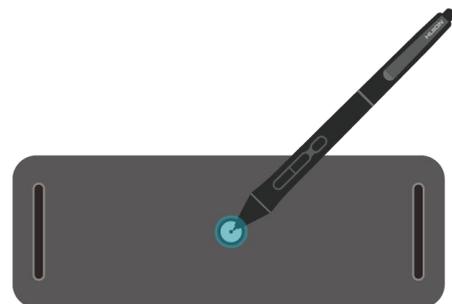
ペンプレスキーの使用:

ペンプレスキーの機能はドライバーでプログラムすることができます。ペンの先端とペンディスプレイとの垂直距離が感知できる高さ（10mm）の範囲内であれば、ペンプレスキーは機能します。ペンプレスキーを使用したくない場合は、ドライバーで機能しないようにを設定できます。

ペン先を交換する:

ヒント: ペン先が摩耗したら新しいペン先と交換してください。

- 1.ペンケースを開け、交換用のペン先を取り出します。
- 2.ペンを傾け、ペンケースの背面にある内蔵のペン先クリップを通して、古くなったペン先を引き抜きます。
- 3.新しいペン先を奥までしっかりと挿入します。



6. 静電容量方式タッチの使用方式

Kamvas Pro 27 は、静電容量方式タッチスクリーンパネルを採用しています。10 点マルチタッチに対応しており、制作効率を大幅に向上させることができます。マルチタッチをオフ/オンにするには、スイッチを左右にスライドします。

一般的な機能		
指	ジェスチャー	アクション
指 1 本	タップ	選択
	ダブルタップ	ファイルを開く
	長押し	その他のコマンドを表示する（右クリックなど）
	長押し & ドラッグ	ファイルを移動する
指 2 本	水平/垂直にスライド	スクロール
	ピンチイン/ストレッチアウト	ズームアウト/ズームイン
指 3 本	上にスワイプ	開いているすべてのウィンドウを表示
	下にスワイプ	デスクトップを表示
	左/右にスワイプ	開いているアプリやウィンドウの切り替え
指 4 本	上にスワイプ	開いているすべてのウィンドウを表示
	下にスワイプ	デスクトップを表示
	左/右にスワイプ	デスクトップの切り替え

7. ドライバーの設定と機能

7.1. 界ドライバの見方



① ペンディスプレイ

ペンディスプレイの設定を行います。ショートカットキーやアクティブエリアを設定できます。[セクションに進む](#)

② デジタルペン

ペン機能の設定を行います。ショートカットキーやモード設定、筆圧テスト、筆圧感度を設定できます。 [セクションに進む](#)

③ ストア

Huion の公式サイトにアクセスし製品の最新情報やサポートに関する情報を入手できます。他の製品やアクセサリもこちらからご購入いただけます。

④ プログラムの追加

- 1) 画面上の「プログラムの追加」をクリックすると、すでに開いているいくつかのプログラムが表示され、その中から選択することができます。さらに多くのプログラムを追加するには、それらを開いてからこのインターフェースに入力するか、ブラウザをクリックしてコンピュータ内のプログラムを選択し、開くをクリックして追加する必要があります。
- 2) プログラムごとに、作業範囲やデジタルペンの設定を変えることができます。なので、別のプログラムを起動すると、ドライバーは自動的にそのプログラムを認識し、設定機能が対応するものに変更されます。
- 3) 「全てのプログラム」を選択すると、作業範囲の設定とデジタルペンの機能設定は、カスタマイズされていないすべてのプログラムに対して有効です。

⑤ 設定

ドライバーに関する設定を行います。デバイス情報、データのバックアップ、一般設定、ドライバーのバージョン情報を確認できます。[セクションに進む](#)

⑥ 困ったときは

[?] をクリックするとサポートページ <https://support.huion.com/ja-JP/support/home> にアクセスできます。ユーザーマニュアルのダウンロードや不具合報告にご活用ください。

⑦ デバイスを切り替える

ドライバーは最大2つのデバイスを同時に接続できます。デバイスごとに機能を設定でき、選択されているデバイスの機能を使用することができます。

7.2. ペンディスプレイの設定

[作業領域]タブではペンとモニターの移動範囲を設定できます。初期設定では画面全体がアクティブエリアとして設定されています。

拡張モードで複数のモニターを使用する場合は、対応するモニターとアクティブエリアをドライバで設定します。

複製モード（全てのディスプレイで同じコンテンツを表示）では、アクティブエリアとカーソルは全てのディスプレイで同じ表示となります。

7.2.1. アクティブエリア設定

画面の任意の部分をアクティブエリアとして設定できます。



図 1

[1] 全ての領域：画面全体をアクティブエリアとして設定します。初期設定は [全画面] です。

[2] 画面比率：このモードでは、デバイスのアクティブエリア比率とディスプレイ表示比率が同じになります。

例：等倍モードで円を描くと、ディスプレイにも同じ比率の円を描画します。この場合、ディスプレイの一部にペンを使用できない領域が残る場合があります。比率を変更しない場合、楕円を描画する場合があります。

アクティブエリアの比率は、ディスプレイの比率に依存します。

[3] カスタム領域：画面の任意の部分をアクティブエリアとして設定できます。

方法 1. 座標を入力します。

方法2.図1のようにアクティブエリアのラインを動かして調整します。カスタムモードではユーザーが指定したアクティブエリアでのみペンを使用することができます(図2、図3を参照)。

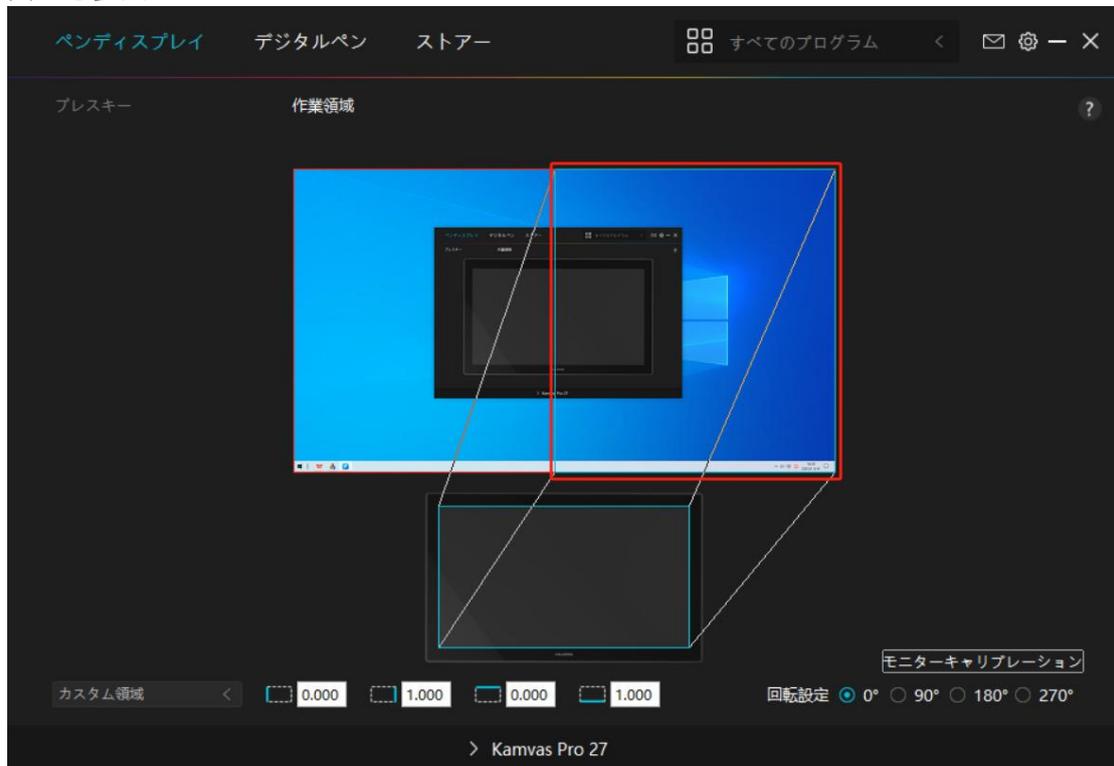


図 2

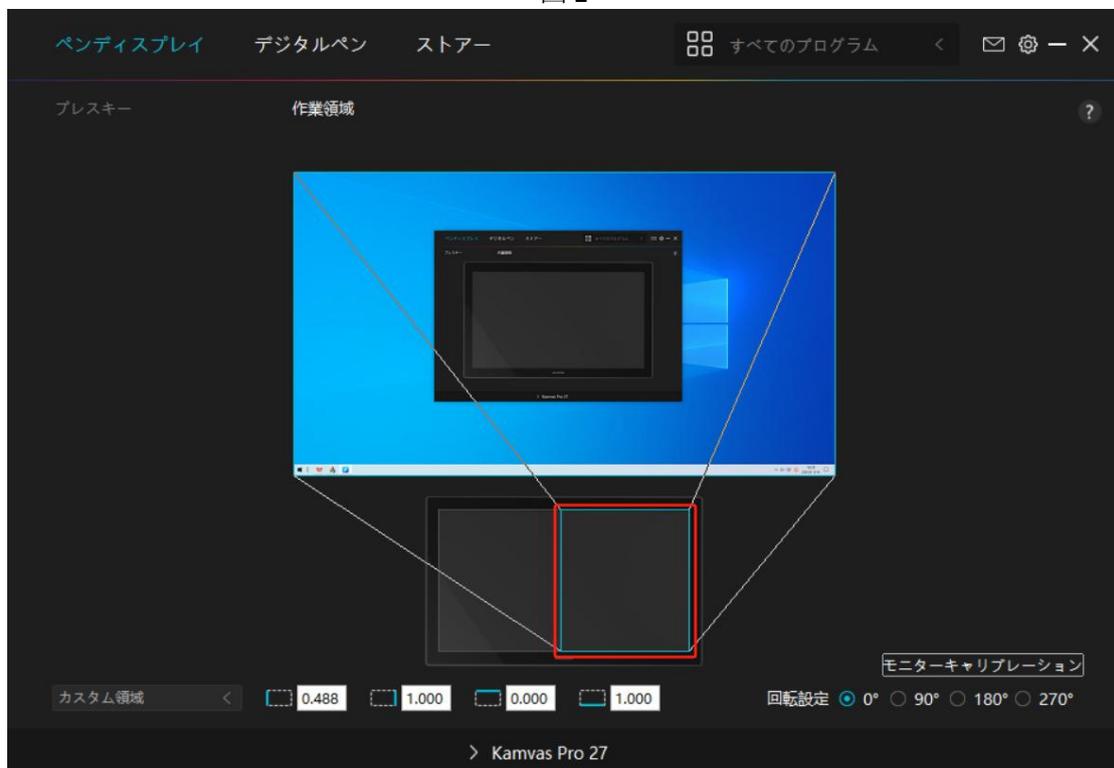


図 3

7.2.2. アクティブエリアの回転

ペンディスプレイの方向を変更して、左利きまたは右利きの操作に合わせることができます。ペンディスプレイを 0°、90°、180°、または 270°回転させることができます。



図 1



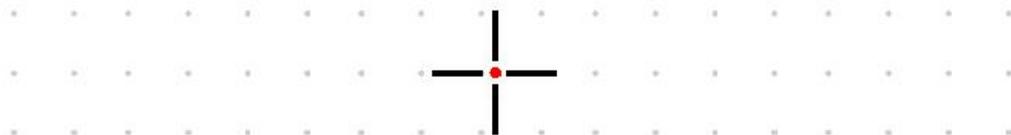
図 2

7.2.3. キャリブレーション

[キャリブレーション]をクリックし、指示に従って表示位置を調整します。



普段どおりデジタルペンを持ち、十字中心の赤い点をペン先で押し設定してください。
初期設定に戻すには [キャリブレーションをキャンセル]、[デフォルトの復元] を選択します。



ヒント: 目録のペンの持ち方でデジタルペンを持ち、十字マークの中央にある赤い点をクリックします。



7.3. デジタルペンの設定

7.3.1. ショートカットキー

デジタルペンを使用して、描画、書き込み、ファイルの移動、ショートカット機能の呼び出しを行えます。



設定変更が必要かどうかについては、下記の機能一覧を参照してください。

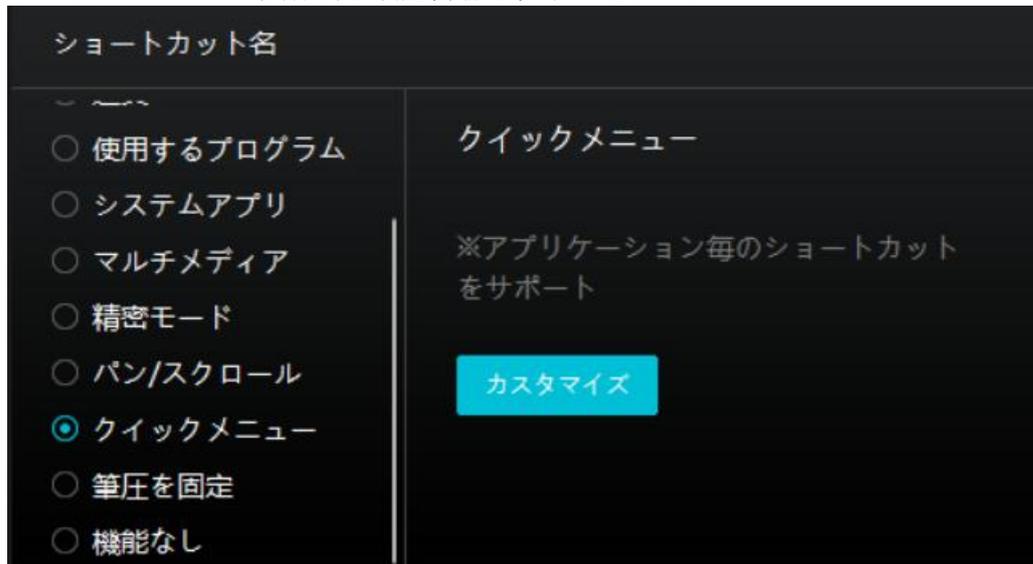
ご注意: 表示されるリストは機種によって異なる場合があります。ファームウェアアップデート等によりリスト内容が変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
プレスキーの機能の設定は、以下の一覧で確認できます。プレスキーの機能は次のように設定することができます。

キーボード	入力ボックスをクリックし、有効なキーコンビネーションを入力してショートカットを作成します（最大 18 文字まで使用可能）。
マウスボタン	マウスの左ボタン、右ボタン、中央ボタン、左ボタンのダブルクリック、スクロールホイール、その他機能の設定。
道具	「スクリーン切り替え」「消しゴム」「復元」「取り消し」「クリア」を選択してください。
プログラムの起動	[参照]をクリックして、任意のプログラムを選択します。設定後はボタンをクリックするとプログラムを起動します。
システムアプリ	Windows OS では、キーの機能を以下のように設定できます： 画面ロック、スリープ、電源オフ、デスクトップアイコンの表示/非表示、タスクビュー、スタートメニュー、および電卓。 mac OS では、キーの機能を以下のように設定できます： スリープ、画面ロック、デスクトップの表示/非表示、ミッションコントロール、ローンチパッド、およびファインダー検索。 Linux OS では、キーの機能を以下のように設定できます： 画面ロック、スリープ、および電源オフ。
マルチメディア	前の曲、次の曲、再生/一時停止、音量を上げる、音量を下げる、ミュートなどの機能をキーに割り当てることができます。

精密モード	<p>Fine(レベル 1)から Ultra Fine(レベル 5)まで、通常の精度と選択した精度を切り替えることができます。</p> <p>.精密モードを選択すると、精密モードウィンドウが表示され、スライダーを動かして切り替えたい精度を設定することができます。</p> <p>例：ペンボタンに精密モードを割り当てた場合、ペンボタンを押すと事前に設定した精密モードに切り替えます。元に戻すにはもう一度ペンボタンを押します。精密モードを終了するには [ESC] キーまたは事前に割り当てたショートカットキーを押します。</p>
移動/スクロール	<p>ペン先を上下または左右に動かすことで、ドキュメントやアイテムを移動できる機能です。</p> <p>移動/スクロールを選択すると、速度ウィンドウが表示されます。スライダーを動かして速度を調整します。</p>
クイックメニュー	<p>ショートカットメニューのキーを設定できます。機能一覧は下図を参照してください。</p>
筆圧感度固定	<p>任意の筆圧感度で固定する機能です。まず筆圧検知を有効にした状態で描画します。任意のサイズでボタンを押しつづけると、ボタンを離すまでブラシサイズを固定したまま描画できます。</p>
機能なし	<p>「None」を選択した場合、キーを押しても何の機能も実行されません。</p>

注：写真は一例です。

クイックメニューの具体的な設定内容は以下の通りです。



[カスタマイズ] をクリックしクイックメニュー画面を開きます (図 1)。

割り当てる：ボタンを選び、任意の機能を割り当てます。設定完了後はキーを押して設定した機能呼び出します (図 2)。

修正する：いずれかのボタンをクリックしメニューを非表示にします。「固定」をクリックし、「修正」に切り替わったらドラッグして機能を修正します。修正したら「閉じる」を押して終了します (図 3)。

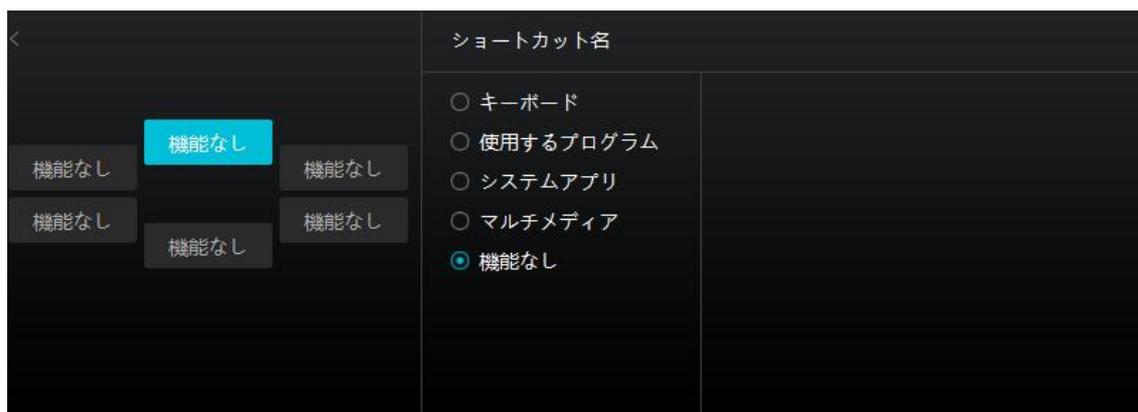


図 1



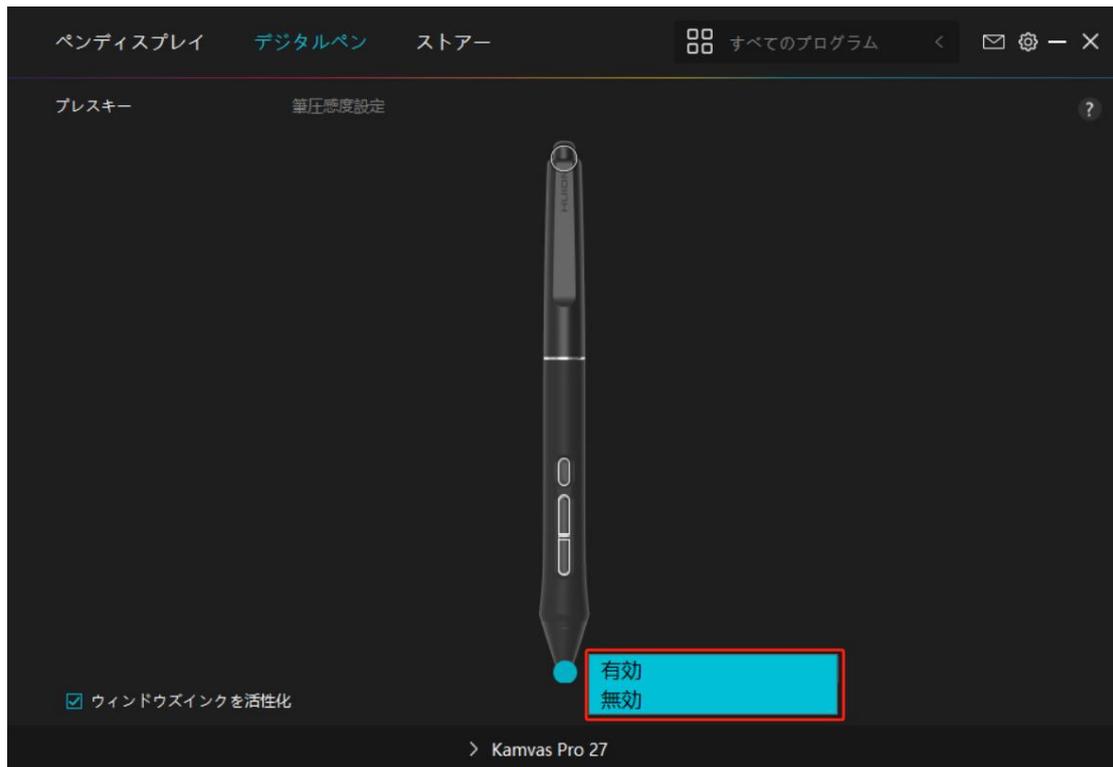
図 2



図 3

7.3.2. ペン先のアクティブ化

デジタルペンのペン先は、ユーザーの皆様のニーズに応じてドライバーで有効/無効に設定することができます。設定するためには、ドロップダウンボタンをクリックします。有効モードでは、画面上でペンをタップするとクリック、ダブルクリック、ドラッグなどの特定のアクションを実行できます。無効モードでは、ペンはカーソルの移動を制御できませんが、特定のアクションを実行できません。



7.3.3. Windows Ink の有効化

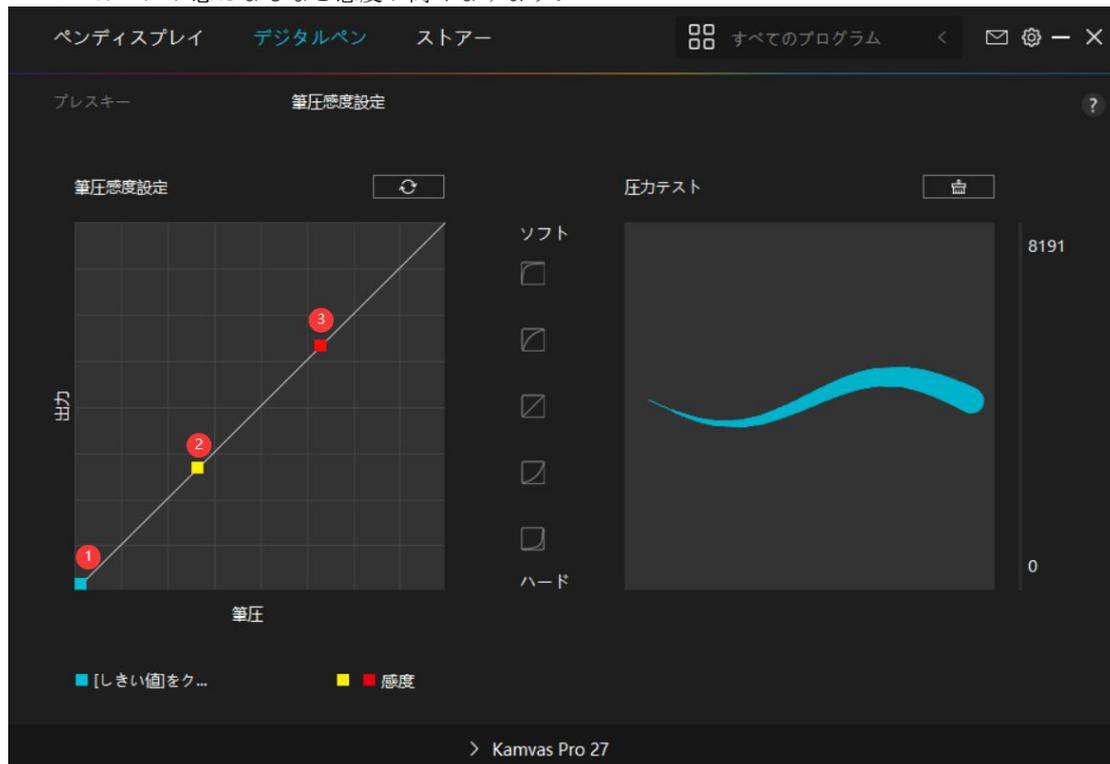
Microsoft Windows は、デジタルペンによる手書き入力を独自にサポートしています。Microsoft Office、Windows Whiteboard、Adobe Photoshop、SketchBook 6 など手書き入力を使用するには、ドライバーで「Windows Ink を有効にする」にチェックを入れます。
注意： macOS と Linux OS はこの機能を使用できません。



7.3.4. 筆圧感度の調整

筆圧感度を設定する機能です。筆圧感度ボックス内のスライダーをドラッグしてカーブを調整します。リセットするには右上の「やり直し」をクリックします。5種のプリセットからレベルを選ぶこともできます。

- ① クリック音や感触を設定
- ② 筆圧感度のカーブを設定
- ③ 筆圧最大時のレベルを設定
 - 筆圧テストボックス内で線を描き、現在の筆圧感度を確認できます。見づらくなったら上の[消去]をクリックし、適切な感度になるまで調整を行います。
 - カーブが急になるほど感度が高くなります。



7.4. ドライバの設定

7.4.1. デバイス

ここでファームウェア版を閲覧し、デバイス診断ツールをクリックして実行します。



* ディスプレイの設定

シーンモード：「標準モード」、「ゲームモード」、「映画モード」、「USER」から好みのモードを選択します。

「標準モード」、「ゲームモード」、または「映画モード」を選択すると、青いスライダーをドラッグして「彩度」の値を調整できます。

「USER」モードを選択すると、青いスライダーをドラッグして「明るさ」の値、「コントラスト比」の値、「彩度」の値を調整できます。

輝度：スライダーをドラッグし画面の明るさを調整します。

コントラスト：スライダーをドラッグし、画面のコントラストを調整します。

彩度：画面の彩度を調整するために対応するスライダーをドラッグできます。

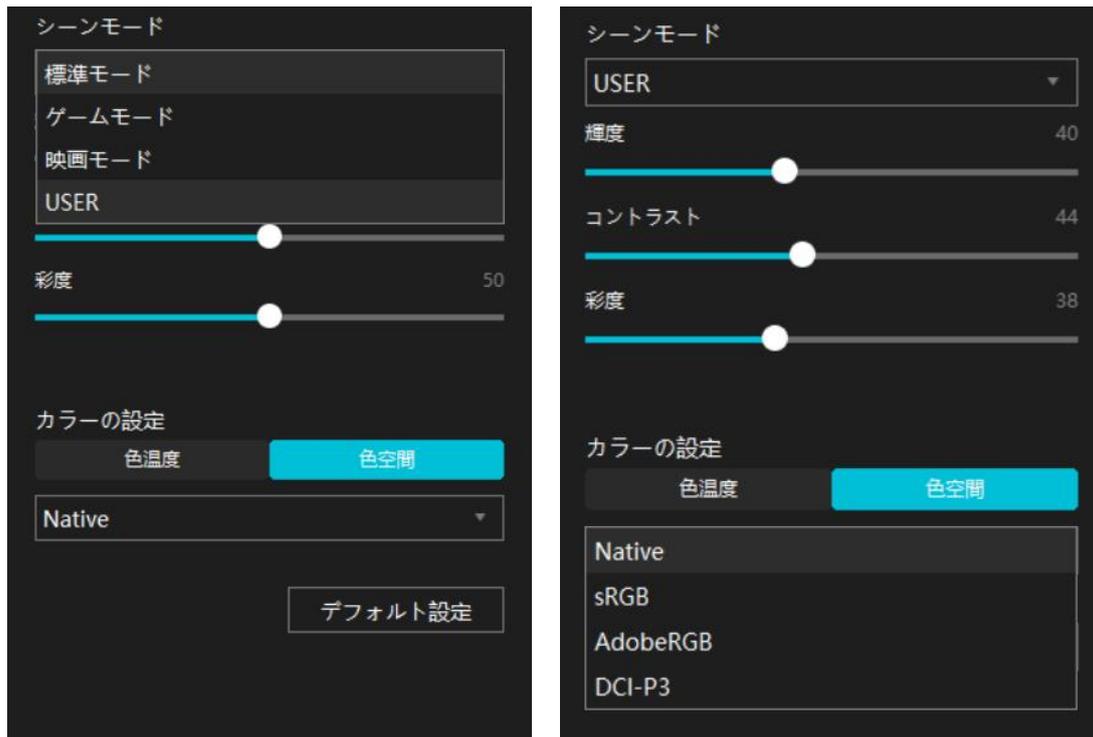
色温度：「6500K」、「7500K」、「9300K」、または「ユーザー」モードが選択できます。「ユーザー」モードでは、RGB 値を調整して色温度をカスタマイズできます。

色空間：「ネイティブ」、「sRGB」、「Adobe RGB」、「DCI-P3」が選択できます。

ネイティブ色空間では、「シーンモード」と「色温度」を自由に調整・選択できます。

一方で、sRGB、Adobe RGB、DCI-P3 色空間では、できる限り3つの色空間の基準を満たすようにするため、「ユーザー」モードの中で「明るさ」のみが調整できます。

注意： macOS ユーザーの皆様は、ディスプレイ設定についてフル機能 USB-C ケーブルが接続されている場合のみ使用できます。ディスプレイ設定を変更する場合は、デバイスを接続するためにフル機能 USB-C ケーブルを使用するか、電源ボタンを3秒間長押しして [ペン対応の OSD メニュー](#) を表示して調整してください。



7.4.2. バックアップ

バックアップにはデバイスのすべての設定データが含まれています。これらの設定をローカルまたは別のコンピュータでいつでも復元できます。設定のインポートおよびエクスポートが可能なので、異なるデバイスを使用する際に繰り返し設定を行うのを避けることができます。

設定のエクスポート：現在の設定データをローカルにエクスポートするには、「エクスポート」をクリックします。

設定のインポート：「インポート」をクリックし、ファイルマネージャを開き、設定ファイルを選択し開きます。

デフォルト設定：現在のデバイスのすべての設定が対象となり、デフォルト設定が復元されます。



7.4.3. 基本設定

言語: ドロップダウンボタンをクリックすると、14種類の中から言語を切り替えることができます。

色: ドライバインターフェースの配色を変更します。

スタートメニュー: 起動オプションを選択するためにクリックします。「新しいメッセージの通知」、「自動起動」および「自動アップデート」を有効にすることで、製品とサービス向上に役立ち、最新のドライバーをご利用いただけるようになります。これらはいつでも無効にすることができます。

ホットキー: ドライバーをすばやく呼び出せるようホットキーを設定できます。ドライバページを開くときに押すキーを初期状態に戻したい場合は、「デフォルトに戻す」をクリックします。

画面の切り替え: 現在のペンタブレット/ペンディスプレイをマッピングするモニター間を切り替えるホットキーを設定します。画面の切り替えができるホットキーは、HuionTabletのドライバーアプリケーションで使用できるデバイスにのみ機能します。

管理者権限: この項目は、Windows OSでのみ利用することができます。ドライバにより、現在のドライバインターフェースが管理者権限で開かれているか否かが識別されます。この項目は、管理者権限で開いている場合は非表示となり、管理者権限で開いていない場合には表示されます。



7.4.4. 詳細情報

ドライバのバージョンを確認できます。「アップデートの確認」をクリックすると最新バージョンを確認できます。

新しいドライバがある場合は指示に従ってアップデートを行います。

クリックや描画ができない、またはソフトウェアで筆圧感知がされない場合は「ソフトウェア診断」をクリックして原因を調べてください。具体的な操作方法は、[こちら](#)をクリックしてください。

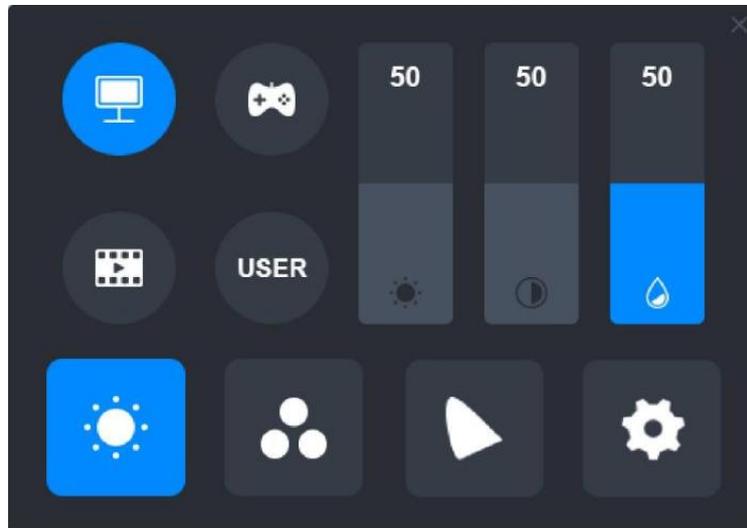


8. ペンを使った OSD 設定

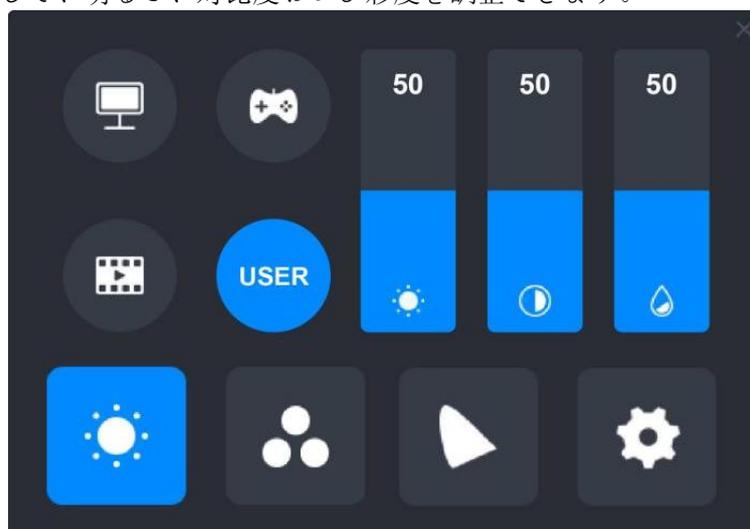
Kamvas Pro 27 の OSD メニュー設定はデジタルペンを使用して行うことができます。電源ボタンを 3 秒間長押しして OSD メニューを表示し、その後デジタルペンを使用して画面上の設定を調整できます。ユーザーインターフェースは最小限のデザインで作成されており、シーンモード調整インターフェース、色温度調整インターフェース、色空間調整インターフェース、および一般設定インターフェースを含む 4 つのインターフェースがユーザーの皆様のニーズに応えるために用意されています。

8.1. シーンモード

明るさの調整は太陽アイコンをクリックしてください。インターフェイス左上で次の 4 つのモードが選択できます：スタンダード・モード、ゲーム・モード、ムービー・モードおよび USER（ユーザー）モード。右上に：明るさ、対比度と彩度があります。スタンダード・モード、ゲーム・モードあるいはムービー・モードを選択した場合、右側の棒のみが青で表示され、ユーザーはドラッグして彩度を調整できます。



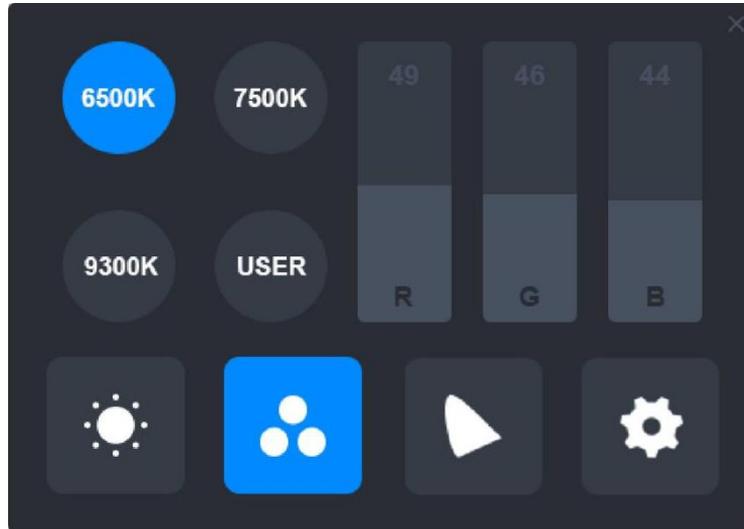
USER（ユーザー）モードを選択している場合、3 つの棒すべてに青が表示され、ユーザーはドラッグして、明るさ、対比度および彩度を調整できます。



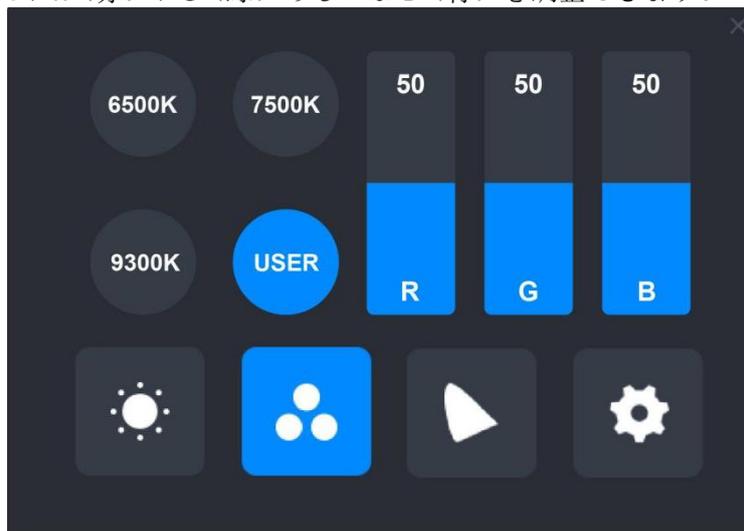
8.2. 色温度の設定

左上に 3 つの標準カラー温度（6500K、7500K、9300K）およびカスタム化可能な USER（ユーザー）モードがあります。右上に RGB 色値、R（赤）、G（緑）、B（青）があります。

もし 6500K、7500K あるいは 9300K を選択している場合、3 つの棒すべてが黒く表示され、ユーザーは R（赤）、G（緑）あるいは B（青）を調整できません。

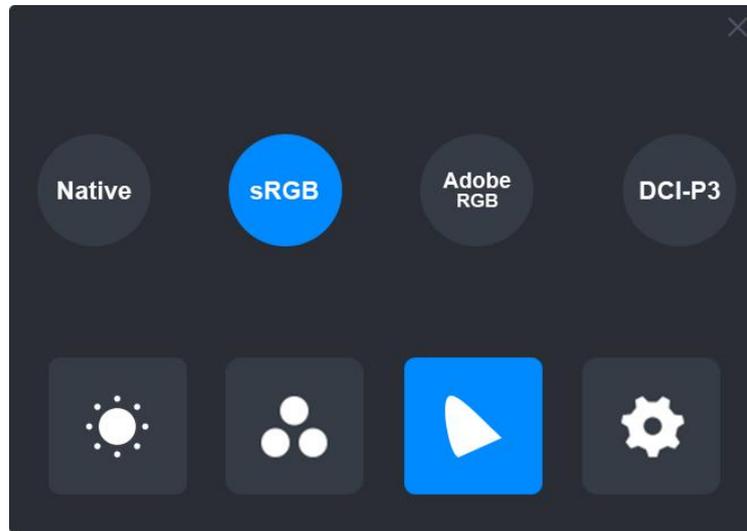


USER（ユーザー）モード選択の時、3 つの棒すべてが青で表示され、ユーザーはそれぞれドラッグして、R（赤）、G（緑）あるいは B（青）を調整できます。



8.3. 色域の設定

インターフェースには 4 つの色空間、「ネイティブ」、「sRGB」、「Adobe RGB」および「DCI-P3」が表示されます。



注意:

ネイティブ色空間では、「シーンモード」調整インターフェースと「色温度」調整インターフェースの値を自由に調整または選択できます。

一方で、sRGB、Adobe RGB、および DCI-P3 色空間では、可能な限り 3 つの色空間の基準を満たすために、「ユーザー」モードの「明るさ」の未調整することができます。



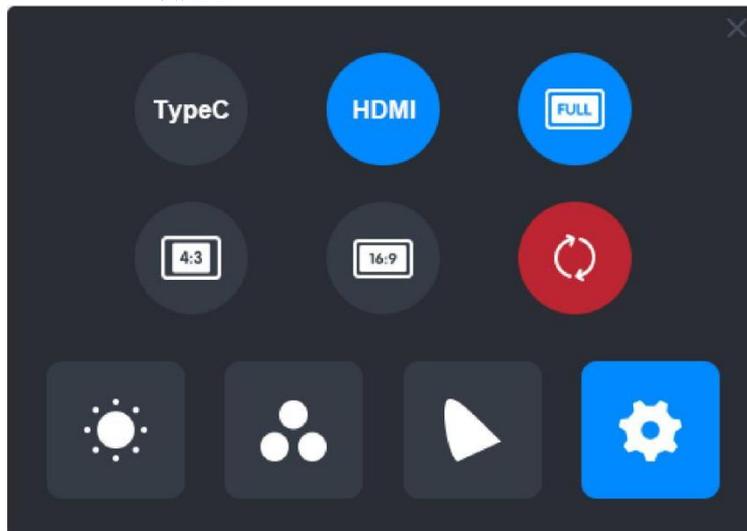
Native

sRGB/AdobeRGB/DCI-P3

8.4. 一般設定

メニューでは TypeC、HDMI、Full（フル）、4:3、16:9、Reset（リセット）が選択できます。

- ①TypeC/HDMI: Type-C ケーブルあるいは HDMI ケーブルで接続
- ②FULL: 表示領域をフルスクリーンに切り替え
- ③4:3: 表示領域のアスペクト比を 4:3 に切り替え
- ④16:9: 表示領域のアスペクト比を 16:10 に切り替え
- ⑤Reset: OSD メニューの設定をすべてデフォルトにリセット



9. トラブルシューティング

問題	解決方法
カーソルが動くのに筆圧を検知しない	ドライバインストール時に、他のドライバをインストールまたはグラフィックソフトウェアを起動した可能性があります。すべてのドライバーをアンインストールし、起動中のソフトウェアをすべて閉じてから、ドライバーを再インストールします。インストールが完了したら、コンピュータを再起動してください。
デジタルペンが使えない。	1.本機に付属していた純正ペンを使用してください。 2.ドライバーが正しくインストールされていることを確認してください。
本体のショートカットキーが使えない	1.ショートカット機能が有効になっているか確認してください。 2.ショートカットキーが正しく設定されているか確認してください。
パソコンがスリープモードにならない	ペンディスプレイのアクティブエリアにデジタルペンを置いていませんか？ デジタルペンを本機から離して保管してください。
デジタルペンのショートカットキーが使えない	ペン先をディスプレイの表面から 10mm 以内に保持してください。離れすぎると検知なくなります。
パソコンがペンディスプレイを認識しない	USB ポートに異常がないことを確認します。問題がある場合は別の USB ポートを使用してください。

問題が解決しない場合は [FAQ] をクリックしてトラブルシューティングをご覧ください。または当社カスタマーセンター (service@huion.com) まで電子メールにてお問い合わせください。